

人と地球にやさしい技術、未来につなぐものづくり

第9回 プレス・板金・フォーミング展

MF-TOKYO

2027



出展のお申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F

TEL.03-3432-4579

<https://j-fma.or.jp> E-mail : info@j-fma.or.jp

日刊工業新聞社 第一イベント事業部

MF-TOKYO 2027 運営事務局

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

TEL.03-5644-7221

<https://www.nikkan.co.jp> E-mail : mftokyo@nikkan.tech

出展のご案内

2027年6月23日水~26日土 10:00~17:00 最終日は16:00まで

東京ビッグサイト 東ホール

主催: Jf 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会  日刊工業新聞社

<https://www.mf-tokyo.jp/>



公式Webサイト

出展募集にあたって

2026年、緩やかな景気回復の兆しが見られる一方で、企業には引き続き柔軟かつ持続可能な経営判断が求められています。製造業においても、省人化・自動化の加速、AIやデジタル技術の導入、そして環境戦略の見直しなど、変化への対応力が問われる時代となっています。

MF-TOKYOは、鍛圧機械(プレス・板金・フォーミング・自動化・周辺機器)の国際展示会として2009年に初開催され、今回で9回目を迎えます。日本のものづくりを支える鍛圧機械産業の最先端技術を広く発信し、業界の発展に寄与することを目的としております。

前回2025年は、コロナ禍を乗り越えた初の通常開催となり、多くの来場者にご来場いただき、活況を呈しました。今回のMF-TOKYO 2027では、さらにその勢いを加速させるべく、展示内容・来場者誘致ともに一層の充実を図ってまいります。本展の副題には、「人と地球にやさしい技術、未来につなぐものづくり」を掲げました。これは、カーボンニュートラルやSDGsへの対応といった環境への配慮に加え、次世代へと技術と志をつなぐ「事業承継」の想いを込めたものです。業界の持続的な発展のためには、技術の進化とともに、それを担う人材の育成が不可欠です。

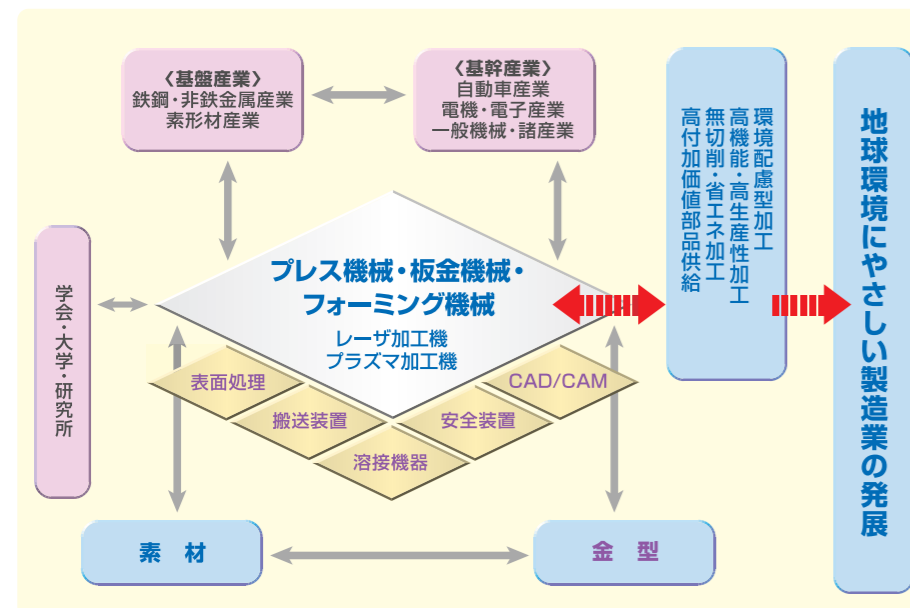
その一環として、これまで取り組んできた大学生・高校生の来場促進に加え、今回は新たに小学生の誘致にも力を入れてまいります。ものづくりの現場を実際に見て、触れて、体験することで、未来の担い手となる子どもたちにその魅力を伝え、将来の進路選択や職業観の醸成につなげたいと考えております。

また、昨今の報道にもあるように、EV一辺倒だった自動車業界の潮流にも変化が見られ、HVやPHVといった多様な選択肢が再評価されるなど、各社の経営戦略にも再構築の動きが広がっています。こうした変化の中で、鍛圧機械産業が果たす役割はますます重要になってきていると感じます。鍛圧機械・自動化装置・関連機器・加工技術・サービス技術が一堂に会する本展は、専門展示会ならではのプレス・板金・フォーミング加工技術に造詣の深い来場者様が多く訪れます。ぜひ各位の優れた製品・技術をご出展いただき、情報発信・商談の場としてご活用くださいますようお願い申し上げます。関係各位のご参加を心よりお待ちしております。

MF-TOKYO とは

- 1 日本から世界へ発信する塑性加工技術の専門展です
- 2 専門展ならではの質の高い来場者を数多く動員し、多くの商談を創出する展示会です
- 3 セミナー・講演会など最新の塑性加工技術情報を発信します

MF-TOKYO プレス・板金・フォーミング展 コンセプト



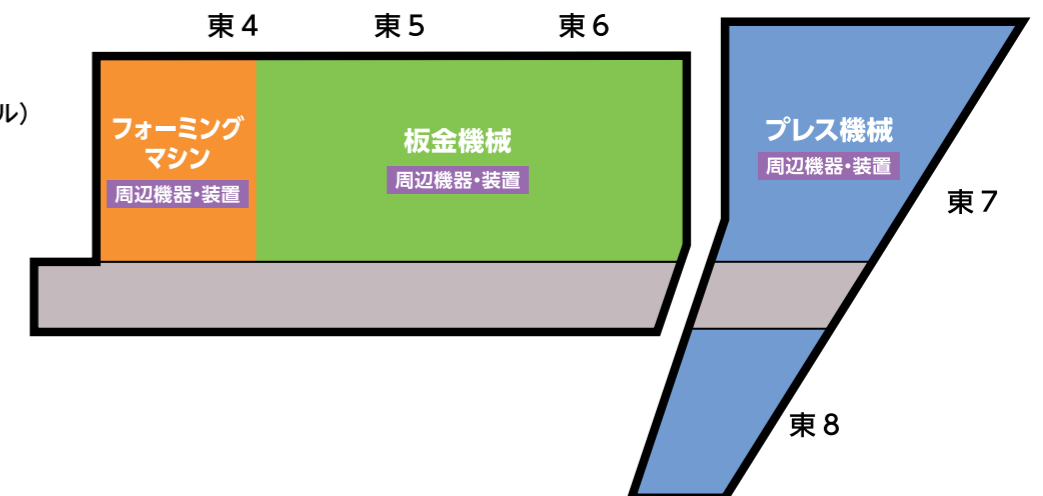
開催概要

名称	MF-TOKYO 2027 第9回プレス・板金・フォーミング展	協賛	日本自動車工業会／日本自動車部品工業会／ レーザー加工学会／日本ロボット工業会／ 日本電機工業会／日本建設機械工業会／ 日本溶接協会／日本精密機械工業会／レーザー協会
副題	人と地球にやさしい技術、未来につなぐものづくり	海外協賛	中国机床工具工業協会／中国鍛圧協会／中国模具工業協会／ インド工作機械工業会／アメリカ製造技術協会／ 台湾機械工業同業公会／韓国工作機械産業協会／ イタリア工作機械工業会 (以上申請予定、順不同・法人格略)
会期	2027年6月23日(水)～26日(土)	併催事業	講演会、セミナー ほか
時間	10:00～17:00(最終日は16:00まで)	入場料金	1,000円(招待状持参者および事前登録者、中学生以下は無料)
会場	東京ビッグサイト 東4～8ホール	目標出展規模	1,800小間(16,200㎡)
主催	日本鍛圧機械工業会／日刊工業新聞社	目標来場者数	33,000人(うち海外来場者1,300人)
後援	経済産業省／厚生労働省／環境省／ 日本貿易振興機構(ジェトロ)	特別協賛	日本塑性加工学会／日本鍛造協会／ 日本金属プレス工業協会／日本金型工業会／ 日本工作機械工業会／日本ねじ工業協会／ 日本ばね工業会

出展対象

プレス機械		周辺機器・装置	
サーボプレス、高速精密自動プレス、C形プレス、 ストレートサイドプレス、トランスファプレス、冷間鍛造プレス、 熱間鍛造プレス、粉末成形プレス、油圧サーボプレス、 ファインブランキングプレス、ダイスポッティングプレス、 ハイドロフォーミングプレス、CFRP成形プレス 他		自動化装置	送り装置、コイルフィーダーライン、レバラーフィーダ、 ロボットライン、各種コンベア 他
		安全装置	光線式安全装置、レーザ式安全装置、ロードモニター、 レーザ用保護めがね・遮光めがね 他
		金型関連	各種用途別金型、金型部品及び製造技術・装置・周辺機器・工具、 クイックダイチェンジ、積層金型用転積装置 他
		金型成形加工品	プレス加工品、鍛造加工品、板金加工品、フォーミング加工品 他
		表面処理	バリ取り機器、防錆・防食関連、洗浄機 他
		溶接機器	レーザ溶接機、スポット溶接機、アーク溶接機、溶接3D定盤 他
		設計・製造システム	CAD/CAM/CAE、生産管理システム、シミュレーション、 板金加工見積ソフト 他
		検査測定機器	検査装置、測定器、試験機器 他
		材料関連	用途別金属材料、超硬合金、熱可塑性複合材料、 高速加熱搬送システム 他
		レトロフィット	レトロフィット、サービス 他
板金機械			
レーザー加工機、パンチングプレス、レーザー複合機、 レーザーブランキング、プレスプレーキ、シャーリングマシン、 パネルバンディングマシン、プラズマ加工機、 ウォータージェット加工機、ロールバンダー、 バンディングロール、パイプバンダー、パイプ切断加工機 他			
フォーミングマシン			
パーツフォーマ、ヘッダー、ワイヤーフォーミングマシン、 ロールフォーミング、転造機、ばね機械、ねじ機械、伸線機、 インクリメンタルフォーミング機(ダイレスNC加工機) 他			

会場ゾーニング予定 (東京ビッグサイト東ホール)



前回(MF-TOKYO 2025)実績データ

会 期 2025年7月16日(水)~19日(土)
10:00~17:00(7月19日(土)は16:00まで)

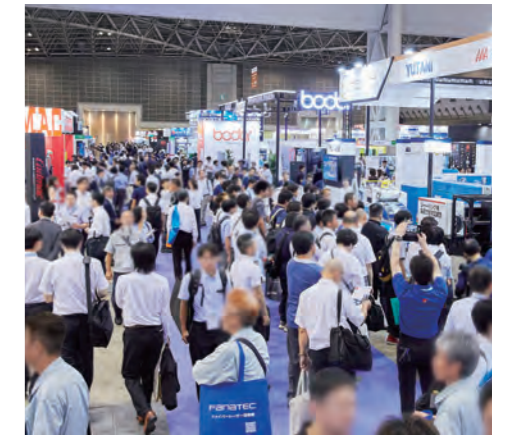
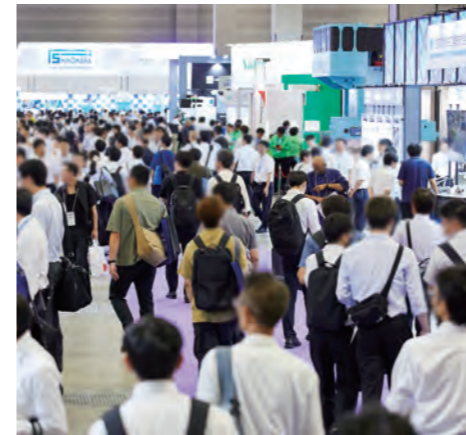
会 場 東京ビッグサイト 東4~8ホール

来 場 者 数 31,207人

出 展 者 数 329社・団体(共同出展含む)

出 展 規 模 1,736小間

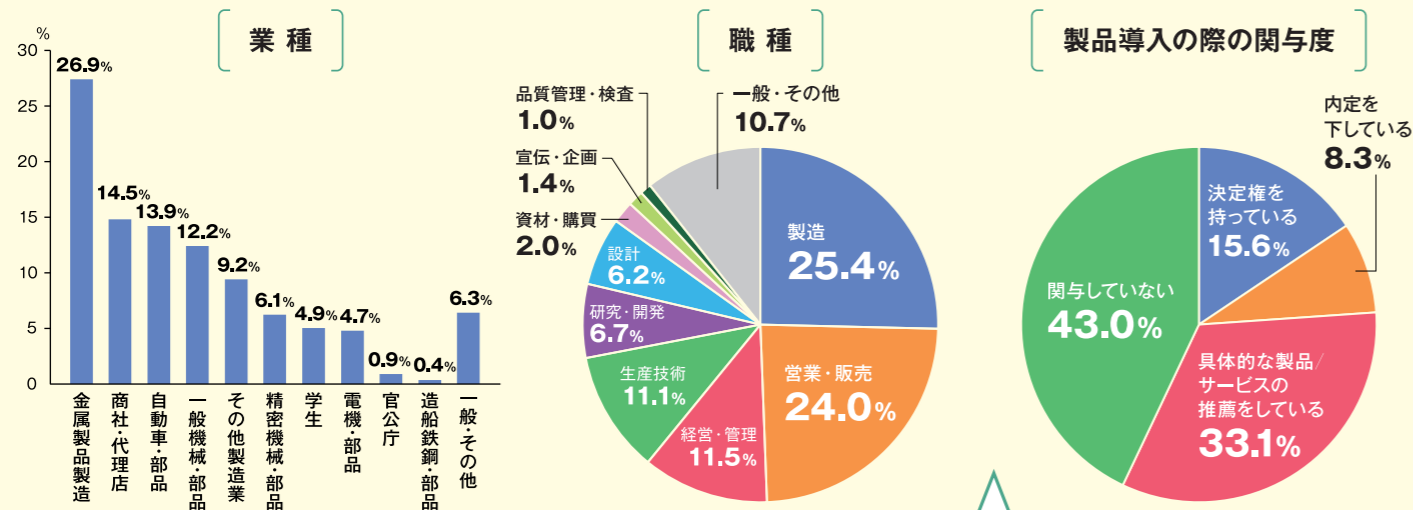
併 催 事 業 特別講演、プレス技術×型技術 Presents-時代の変化を
追い風に変える 加工メーカーの新視点、
学会テクニカルセミナー、出展者テクニカルセミナー、
大学研究室発表会



専門展示会ならではの来場者と出展者が

入場登録による来場者分析

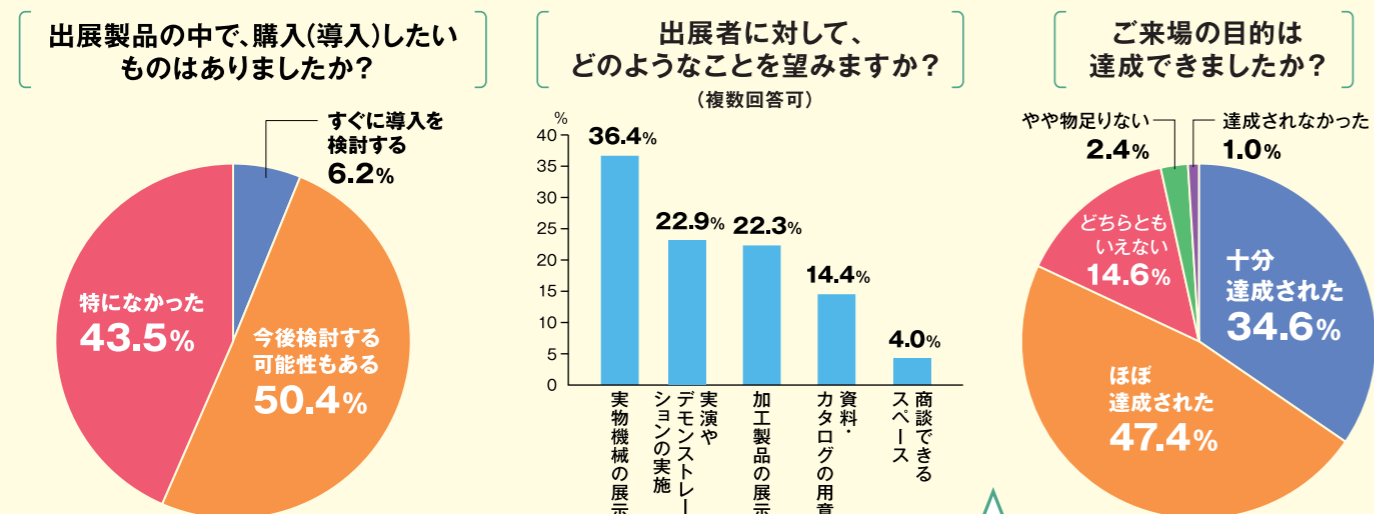
(対象:31,207人)



ターゲットとなる業種の来場者が非常に高く、約60%が製品(技術)購入/導入に影響のある方でした。

来場者アンケート

(対象:405人のサンプル調査結果)



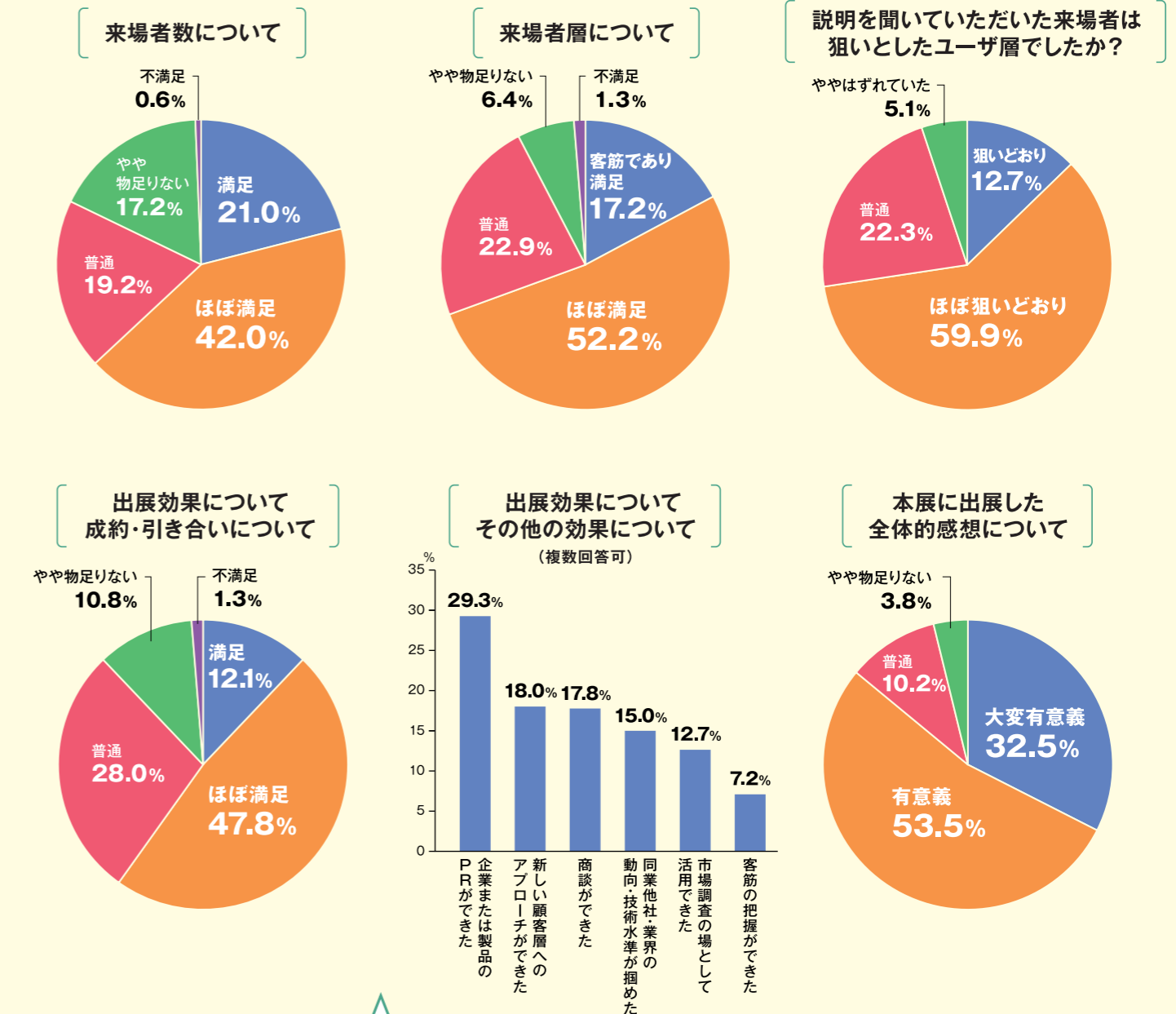
具体的な製品導入の検討など、多くの方が来場目的を達成されました。

『ビジネス創出』を目的に展示会を活用

前回アンケート結果より

出展者アンケート

(回答数:157社 [会員:49社/一般:108社])



ターゲットとする来場者が多く、出展効果が高いという評価になりました。

業界の最新情報を発信する講演・セミナーを多数開催し来場者誘致を図ります。

■ メインステージ講演

学界や産業界から講師を招き、技術的な側面にも踏み込んだ講演会を開催する予定です。

2025年実績

特別講演	
『カーボンニュートラル社会実現に貢献する青色半導体レーザーを用いた次世代アディティブマニファクチャリング技術の研究開発』	大阪大学 接合科学研究所 教授 塚本 雅裕 氏
『日本刀と塑性加工による自動車の軽量化』	日産自動車 元塑性加工エキスパートリーダー 日本塑性加工学会名誉会員 藤川 真一郎 氏
「プレス技術」×「型技術」Presents 時代の変化を追い風に変える加工メーカーの新視点	
『Everyday is a New Beginning! 人と違ったことをやりながら+人を認められる人材づくりこそが…』	元ホンダエンジニアリング 車体領域・執行役員 現タンガロイ/ エリコンジャパン/金型新聞社 アドバイザー 田岡 秀樹 氏
『小さなものづくり企業の営業改革大作戦 ~今日からできる! 技術の価値を伝えるためのマーケティング思考と実践手法~』	オフィス・キーツ 代表 ものづくりライター 新開 潤子 氏
『大手企業の注文変動要因と部品加工工場への影響 注文変動が激しすぎて価格転嫁しても利益につながらない』	ほんま 代表取締役 生産管理システム活用支援コンサルタント 本間 峰一 氏



■ テクニカルセミナー

日本塑性加工学会をはじめとする鍛圧機械産業に関係の深い学会・団体からの専門的な技術・学術情報の発信を目的とした「学会テクニカルセミナー」と、出展者の製品・技術発表の場となる「出展者テクニカルセミナー」を会期中開催します。「出展者テクニカルセミナー」は、ブースとの連動を図り、出展効果を高める場としてご利用いただけます。



様々な媒体を活用し情報を発信。出展者・来場者のマッチングをサポートします。

■ 新聞・雑誌で記事・広告を多数掲載

産業総合紙「日刊工業新聞」では会期前から出展者インタビューや出展者の主な展示物を紹介予定。会期中も現場からの熱気や盛り上がり伝える記事を集中掲載します。また、日刊工業新聞社発行の専門誌「プレス技術」「型技術」においては、より技術的なレポートを中心に掲載し、質の高い来場者を誘致いたします。



(日刊工業新聞)



(日刊工業新聞)

■ ポスター・招待状の作成

展示会紹介の基本ツールを作成・公開し、PRをいたします。(ポスター・招待状は出展者へ無償配布)



(招待状)



(ポスター)

■ 公式Webサイトの作成

「出展募集 (2026年7月~11月)」

出展案内や過去の結果報告などを掲載し、出展検討者向けに情報発信いたします。

「来場動員 (出展者説明会 (2027年1月22日予定)以降順次)」

出展者や併催事業を紹介する他、来場のための事前登録を受け付けます。



(公式Webサイト)

出展料金

1小間(間口2970mm×奥行2970mm)約9㎡につき、下記の通りとします。

区分	種別	本体価格	税込価格
A	一般	¥420,000	¥462,000
B	協賛団体正会員 (法人のみ)	¥380,000	¥418,000
C	特別協賛団体正会員 (法人のみ)	¥360,000	¥396,000
D	主催者(日鍛工)会員	¥320,000	¥352,000

出展料金に含まれるもの

①出展小間(右図参照)

②バーコードリーダー1台と取得データ(希望者のみ) ※1

小間来訪者の入場証コードを読み取ることにより、後日リスト化したデータを提供する「バーコードリーダー」を1台無償貸与いたします。
●無償貸与分は1出展者につき1台とし、リーダーの追加は有償にて承ります。

③出展者テクニカルセミナー P5参照

希望者のみ。応募多数の場合、事務局にて調整。

※1 詳細は出展者説明会(2027年1月22日予定)にてご案内いたします。

出展料金のディスカウントについて

1 早期申込割引

以下の条件を全て満たす場合、出展料金を1小間あたり「本体価格」から2万円割引します。

▶「早期申込期限(10月30日(金))」までに出席申込書を提出・事務局にて受付完了したもの。

▶「早期申込金支払期限(11月30日(月))」までに出席申込金の支払いを完了、事務局にて入金確認がとれたもの。

2 大規模出展割引

20小間を超える出展の場合、21小間目以降の出展料金を本体価格から10%割引します。

3 1と2の併用

併用の際は、1→2の順にて料金を算出します。

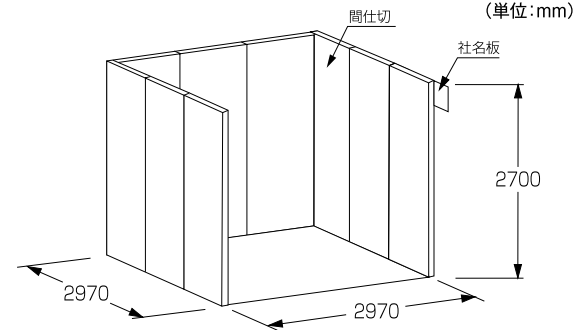
日本鍛圧機械工業会 会員向け 創立80周年特別割引 (今回のみ。対象:上記区分「D」)

2028年に創立80周年を迎える日本鍛圧機械工業会の会員企業については、早期申込(2026年10月30日期限)に限り、1小間分が無償となります。

出展小間

●基礎小間:1小間=約9㎡(2970mm×2970mm)

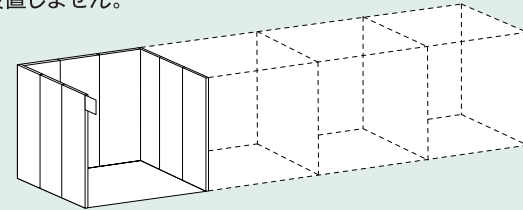
※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はありません。



※隣接小間がない場合、側面の間仕切は設置いたしません。

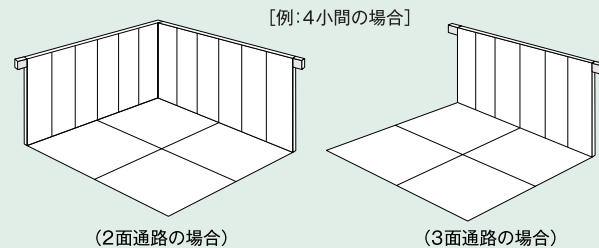
●横列小間(原則1-4小間の出展者)

基礎小間を横に連結したもので、小間内の間仕切は設置しません。カドにレイアウトされた小間の通路側間仕切は設置しません。



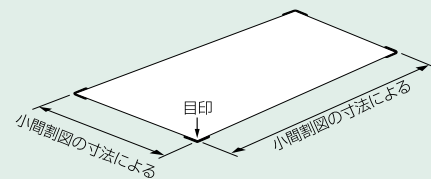
●複列小間(原則4小間以上の出展者)

基礎小間を縦横に連結したもので、小間内の間仕切は設置しません。レイアウトにより通路面の数が変わることがあります。(下図参照)



●島小間(原則20小間以上の出展者)

他の小間と隣接しないスペースで、目印を設置します。



小間の形状(島小間)・位置の決定について

事務局は、上記原則に加え出展分野・展示内容(展示物サイズ)、出展実績、会場環境により、出展位置を決定します。なお、複列小間の「2面通路」又は「3面通路」や島小間のタテ×ヨコの寸法も事務局にて決定します。

出展申込・出展料金の支払いについて

1.出展の申込

出展を希望される方は、必ず「出展契約規定」(P9・または出展申込書裏)をご確認いただき、出展申込書に必要事項を記入のうえ、メール添付又は郵送にて下記にお申込みください。

申込書送付先

国内・海外一般、協賛団体正会員、特別協賛団体正会員 出展料金区分A~C の申込先

日刊工業新聞社「MF-TOKYO 2027」運営事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL:03-5644-7221
E-mail: mftokyo@nikkan.tech

日本鍛圧機械工業会会員 出展料金区分D の申込先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3F
TEL:03-3432-4579
E-mail: info@j-fma.or.jp

早期出展申込期限: **2026年10月30日(金)** 当日必着

出展申込金支払期限: **2026年11月30日(月)**
出展料金の20%相当を「出展申込金」としてお支払いください。

最終出展申込期限: **2026年11月30日(月)** 当日必着

出展料金最終支払期限: **2026年12月25日(金)**
早期割引出展の方は残額(80%相当)を、それ以外の方は出展料金全額をお支払いください。

2.出展の確定

上記に基づき期日(2026年12月25日(金))までに出席料金を全額お支払いいただいた時点で、本展示会の出展を確定いたします。

3.出展確定小間の優先

出展申込多数の場合、小間数の確保・レイアウト位置など上記出展確定小間を優先いたします。

4.出展申込完了後の変更や出展キャンセル

すでに申込が完了した小間に対する変更または出展キャンセルについては全て書面に記述し、事務局にご提出のうえ、事務局の承認を得てください。

出展キャンセルに際しては、下記のとおりキャンセル事務手数料を申し受けます。

出展受付 最終申込期限	2026年7月1日(水)~ 2026年11月30日(月)	出展料金の 20%
最終申込期限の翌日 出展者説明会前日	2026年12月1日(火)~ 2027年1月21日(木)	出展料金の 50%
出展者説明会当日以降	2027年1月22日(金)~	出展料金 全額

スケジュール

2026年7月1日(水) 出展申込受付開始

早期出展申込の受付開始。
なお、申込多数の場合、早期申込期限内に受付終了となる場合がございますので予めご注意ください。

2026年10月30日(金) 早期出展申込期限

出展申込金の請求書は、原則として出展受付後5営業日以内に発行いたします。

2026年11月30日(月) 出展申込金支払期限

上記期限内に出展申込金のお支払いがない場合、早期割引の適用から外し、通常料金にて再請求いたします。

最終出展申込期限

出展料金の請求書は、原則として出展受付後5営業日以内に発行いたします。

2026年12月25日(金) 出展料金最終支払期限

2027年1月22日(金)(予定) 出展者説明会

オンラインでの開催を予定しています。出展担当者の方はご参加ください。本説明会では、搬入出作業、装飾施工、電気工事などについての諸規定・諸注意を「出展マニュアル」に沿ってご説明いたします。

2027年5月17日(月)(予定) 各種届出提出期限

[会場運営スケジュール]

2027年6月19日(土)~22日(火) **搬入・装飾施工**

2027年6月23日(水)~26日(土) **会期**
(26日終了後搬出・撤去)

2027年6月27日(日) **搬出・撤去**

出展契約規定

(1) 出展申込および契約申込

- 1.所定の出展申込書を展示会主催者である日本鍛圧機械工業会および日刊工業新聞社に提出し、主催者が受領した時をもって出展申込および契約申込が行われたものとします。
- 2.日本鍛圧機械工業会の会員企業は同工業会へ、その他の企業・団体については日刊工業新聞社へ、それぞれ出展申込書を提出してください。
- 3.出展申込の早期出展申込期限は2026年10月30日(金)、最終申込期限は2026年11月30日(月)とさせていただきます。ただし、予定小間数に達した場合、申込期限前でも締め切ることがありますことをご了承ください。

(2) 出展申込金

- 1.出展申込書が届き内容を確認後、出展申込金として出展料金の20%を提出先の主催者より請求いたします。請求書に記載する期日までに所定の振込先にお支払いください。
- 2.既納した出展申込金は、いかなる理由にもかかわらず返金いたしません。

(3) 残りの出展料金

出展申込金の入金確認後、残りの出展料金を請求いたします。2026年12月25日(金)までにお支払いください。

(4) 契約の成立および出展小間の使用権

- 1.出展者からの出展料金全額の完納を確認できた時をもって出展契約成立となり、展示会において出展小間の使用権を取得することができます。
- 2.所定の期日までに出展料金を出展者が入金しない場合、出展契約不成立とみなし出展小間の使用権が取得できません。

(5) 出展契約の変更または取り消し

- 1.基本的に出展者は出展契約を変更・解除することはできません。ただし出展者が書面にてその理由を通知し、主催者がこれを認めた場合はこの限りではありません。
- 2.既に申込済みの出展小間を縮小し、既納の料金の減額が生じた場合、減額分は返還いたしません。
- 3.出展契約を取り消した場合、以下のキャンセル事務手数料を申し受けます。

- 出展受付開始日(2026年7月1日(水))から最終申込期限(2026年11月30日(月))まで…出展料金の20%
- 最終申込期限の翌日(2026年12月1日(火))から出展者説明会前日(2027年1月21日(木))まで…出展料金の50%
- 出展者説明会当日(2027年1月22日(金)予定)以降…出展料金の全額

(6) 小間位置の決定、小間譲渡等の禁止、装飾の高さ制限

- 1.小間位置については出展物の内容・形状・申込順位・小間数・会場構成等を総合的に勘案し、事務局で決定いたします。小間位置は出展者説明会(2027年1月22日(金)を予定)にて出展者に発表します。
- 2.割り当てられた小間の一部または全部を事務局の承諾なしに譲渡、または貸与することはできません。また、転貸、担保に供することを禁止します。
- 3.装飾の高さ制限は、小間数に応じて2.7~4.5mとし、一部のみ6mまで認める場合があります。

(7) 出展物の管理保全

- 1.事務局は管理者として注意を払って会場全般の管理にあたります。ただし、各出展物の管理は出展者が自己の責任と費用にて行ってください。
- 2.事務局は出展物の盗難・紛失・損傷・火災・その他天災地変等を原因とする出展物の損害に対しての一切の補償責任を負いません。従って出展者は出展物に保険を付すなどの措置をとるよう配慮してください。

(8) 危険物の持ち込み

- 1.引火性・爆発性の危険物の持ち込みを禁止します。また、その他消防法に定められる危険物・裸火を使用する物については所轄消防署の承諾を受けた物以外は持ち込みを禁止します(危険物の持ち込みの解除条件等については出展者説明会にてご説明いたします)。
- 2.主催者の承諾を得られなかったもの、関連法令に抵触する恐れがあるもの、および公序良俗に反する物の持ち込みを禁止します。

(9) 実演上の注意・事故防止

- 1.出展物の実演は自由ですが、はなはだしい音響・発煙・発光・臭気を伴うもの、または危険を伴う実演は中止を願うことがあります。
- 2.実演によって生じた生ゴミ・展示廃棄物は出展者が処理してください。会場内に廃棄しないようにお願いします。
- 3.出展者は搬入出、展示、実演にあたり最善の注意を払い事故防止に努めてください。また、出展者は万全の処置を講じ、責任者の常駐をお願いします。主催者自らの責めに帰すべき場合を除き、発生した事故につき一切の責任を負いません。
- 4.高圧ガス保安法及び取扱規則により、窒素・酸素・アルゴン・その他の高圧ガス貯蔵容器の販売、仕入先紹介、梱包手配等はできません。必要に応じて出展者自身で手配してください。
- 5.ファイバーレーザー溶接機・加工機の実演は、レーザー光が漏れ出ない保護筐体(実演・作業室)内で行い、来場者が実演を見学する「窓」には、必ず遮光フィルタを用いてください。また、有毒ガスが発生するポリ塩化ビニル等で被覆された材料は使用しないでください。

(10) 原状回復

- 1.出展者は、本展の会期終了後、所定の搬出期間を経て出展小間を原状に回復しなければなりません。ただし、出展者が原状回復工事を行わない場合は、主催者において同工事を行い、その費用は出展者が負担するものとします。
- 2.出展者が出展小間の明け渡し後、出展者の残物がある場合、主催者により当該出展者へ連絡した後、残物を処分できることとします。また、その処分にかかる費用については、出展者が負担するものとします。

(11) 各種工事の諸経費の負担

小間内で使用する電気使用料ならびに電気幹線工事費、給排水・エア・ガス・通信回線工事費および使用料は、出展者の負担となります。申し込み方法、費用などの詳細については、出展者説明会にてご案内いたします。

(12) 立ち入り点検

- 1.主催者および本展の警備・防災担当協力は、防火、防災対応のため必要と認められた際は、出展者の了解のうえ、小間内を点検することができます。
- 2.搬入時、および会期中、主催者は防火・防災担当の管轄の行政指導により小間内を点検いたします。出展者が点検時に行政指導を受けた場合は、速やかにその指導に従うこととします。

(13) 査証の取得

海外の出展者が査証の取得を必要とする場合、招聘保証書・招聘理由書を含む必要書類は出展者の責任において作成・手続きを行うものとします。主催者は原則として、日本国外務省が定める書式の招聘保証書・招聘理由書を出展者に対して発行いたしません。また、日本国大使館または領事館から査証が発給されず、出展責任者が出展できなかった場合、一切の損害について主催者は何らの責任を負わないものとします。

(14) 開催の中止・短縮・延期・会場の移転

- 1.天災、感染症、テロ、国・行政などからの指示・命令、その他不可抗力などにより展示会開催が著しく困難となった場合、主催者は開催前または開催期間中であっても、開催中止、開催期日・開催時間の短縮、開催延期または会場の移転を行うことがあります。その場合、主催者が上記の決定後、速やかに出展者に通知・公表することとします。なお、この決定および実行により被る出展者の損害については、主催者は一切の責任を負わないものとします。
- 2.搬入・装飾期間前日までに、不可抗力により全日程が開催中止となった場合、主催者は既に発生した経費を差し引いた出展料の残額を出展者に返金します。
- 3.開催中(搬入・装飾期間及び会期)に発生した不可抗力により開催期日・開催時間を短縮・中止した場合については、出展料ならびに主催者と出展者間の直接契約から発生した費用(ストックルーム費用など)は返金しません。また、それによって主催者以外で出展者が要した費用については補償しません。
- 4.上記1に基づき、開催延期または会場の移転となった場合、出展料ならびに主催者と出展者間の直接契約から発生した費用は返金しません。

MF-TOKYO 2025 出展者一覧

(出展者名は2025年当時のものです)
(※)は共同出展者(法人格略)

国内出展者

A行
アイケイコーポレーション
相澤鐵工所
アイシス
アイセル
アイダエンジニアリング
英田エンジニアリング
愛知産業
浅井産業
アサイ産業(※)
アサダ
旭サナック
旭精機工業
アプライドデザイン
アマダ
天田財団
アマダプレスシステム
アマダプレスシステム/MECIばね成形機部門
アミノ
アルファTKG/ユアサ商事
イーグル工業
Eプラン
イタカジャパン
板屋製作所
イチグチ
ウィリー
WEL-KEN
ウェルテックスエンジニアリング(※)
エイシインターナショナル(※)
エイチアンドエフ
HSGエンジニアリング
エイム
エコールド・ジャパン
エスールエンジニアリング
エスカディア
SCSK
エステーリンク
エヌエスシー
NCネットワーク
NTTデータエンジニアリングシステムズ
複本機工
エムワッド
エンインダストリーズ(※)
逸誠
オ・エス・ワイ
オーエスアイツール
オーセンテック
大石機械
オオクボフォージングサポート
大谷機械製作所(※)
大峰工業
奥野機械製作所
オスガマ製作所
オプトン
小矢部精機
オリエントマシン(※)

カ行
片桐製作所
型研精工
金型新聞社
カナック
川崎油工
ギア
キーエンス
黄本商会(※)
キャドマック
キョウシンエンジニアリング
行田製作所
協同エンジニアリング
協和マン
旭光製作所
楠精工
栗本鐵工所
群協製作所
京葉バンド
KHエンジニアリング
ケイエステック(※)
KMC
ゲルブ・ジャパン
コーキ
コーショー
コーレンス
向洋技研
コスメック
コニック
コマツ産機
小森安全機研究所
コロナ社

サ行
栄グローバル
阪村機械製作所
サルバーニージャパン
サンアロイ工業
サンエイテック
三益
三起精工

三共製作所
サンクス製作所
三桂機械
サンテスト
三徳コーポレーション
三明製作所
シーケービー
シージーケー
ジェイティーエルジャパン
Gentec-EO Japan
シグマテックジャパン
しのはらプレスサービス
芝原工業
濠谷工業
ジャストプロダクツ
ジャパンコントロールス(※)
ジャロック
正田造機(※)
昌鼎
シルバーロイ
新研
新興機械工業
新明和機工(※)
菅原精機
スギノマシン
スギムラ精工
杉山電機システム
スター精機
住友重機械工業
ゼノー・テック
ゼロフォ
善光商事
先端力学シミュレーション研究所

タ行
ダイジェット工業
泰生工業
大同工業
大東スピニング
大平製作所
太平貿易
ダイマック
太洋
太陽日酸
太陽メカトロニクス
高千穂システムエンジニアリング
宝精密
伊達機械
タナカカメ
TANIGAWA
W&N
ダンゴアンドディーネンターナルジャパン
中日クラフト
樺本メイフラン
テイクワン(※)
ディムシード(※)
ティワイアソシエイツ
テラスレーザー
テンボス
東栄工業
東海理化(※)
東海理化 Smart Craft
東京精密発條
東洋研磨材工業
東洋プレジジョン
トーバン工業
トックス プレソテック
トミタ
トルンブ

ナ行
中島鉄工所
中田製作所
ニチダイ
ニッシン・パーテクトリアル
日伸工業
日本アイ・ティ・エフ
日本タッパ
ニテックドライブテクノロジー
日本ウエルディング
日本計測システム
日本フェイウィック
能率機械製作所

ハ行
ハイスエレクトロニクスジャパン
パイプ加工機械工業会(※)
白鋼
ハシモトキカイ
バスカル
ばね新聞社
坂岡合金工具
ファーンズ重工
ファナック
ファブエース
Physical Photon
フジイ
富士機工
不二商事
不二精工(※)

藤製作所(※)
富士ダイス
扶桑精機
フルーベアコーポレーション
ブルーダラー・プレス
プレシテック・ジャパン
プレス
プロフェクト
ベスト
PEM Japan
豊栄工業
豊光エンジニアリング
放電精密加工研究所
HORIKOSHI(※)
ホルビガー日本

マ行
マジンソル
マツモト機械
マツモト産業(※)
マツモトマシナリー(※)
豆蔵
丸昭機械
丸紅情報システムズ
万陽
三嶋商事(※)
ミスズ
瑞穂工業
三豊機工
三菱長崎機工
未来モノづくりパートナーズ
村田機械
村田ツール(※)
ムラテックCCSI(※)
ムラテックフロンティア
名工技研(※)
メイマーク
森鉄工
モリマシナリー

ヤ行
八木産機(※)
山崎技研(※)
ヤマザキマザック
山善
山田ドビー
ヤマナカコーキン
山本水圧工業所
ユーザック
ユーロテクノ
ユタカ
ユタニ
ユニオンツール
吉川鐵工
吉野機械製作所

ラ行
ランテックロジ
リール
理研オプテック
理研計器奈良製作所
リユーベ
リユーベインターナショナル(※)
ルルドスバンセットジャパン
ルブテック
レーザー技術サービス/PENTA LASER
ロームヘルド・ノルダ

海外出展者

A-Z
AL FORGE TECH
ANYANG UNION TRADING
AXLE KOREA(※)
Carlo Salvi(※)
CHEN YING OIL MACHINE
CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL
CHING CHAN OPTICAL TECHNOLOGY(※)
DAHCHING ELECTRIC INDUSTRIAL
DAVI-PROMAU(※)
Demark (Wuhan) Technology
Donguan Ruisui Mechanical and Electrical Technology
DURMAZLAR MAKINA
ECO CNC
Ernst GROB(※)
Fagor Arrasate
FANATEC/FANUCI
Felss(※)
Fladder Danmark
Guangdong Mahatma Intelligent Equipment
Haeusler(※)
Hatebur Metalforming Equipment
HAWERS
HK Laser & Systems(※)
Ho Hsin Metal Industrial(※)
HS ASPE(※)
HUBTEX(※)
HYODONG MACHINE

ISGEC HEAVY ENGINEERING
JERN YAO ENTERPRISES
Jiatai Korea(※)
Jinan Bodor CNC Machine
Joust Far East
KANFON TECHNOLOGY
Kunshan Eagle Precision Tooling
LANTEK SHEET METAL SOLUTIONS
LASCO(※)
LIEN CHIEH HYDRAULIC INDUSTRIAL
LIEN CHIEH MACHINERY
Maxphotonics
NEWWISH TECHNOLOGY
PLUSSPRINGS MACHINERY(※)
Raytools
RCS
REGG Inspection
RSA(※)
SACMA Group(※)
SANES PRESSES
SHANGHAI DERATECH IMPORT & EXPORT
Shieh Yih Machinery Industry
Soenen(※)
Soochow Koredle Energy Saving Environment Technology
3View.Com(※)
Terberg(※)
T.R.S. AUTOMATION
Vinston Machinery
WAFIOS(※)
WTM
XIN DA MACHINE
YHM Springtech Machinery
YIH SHEN MACHINERY(※)
YING HAN TECHNOLOGY
Zhangjiagang City Zhangyun Machinery Manufacturing
Zhejiang Cangen Intelligent Technology
Zhejiang Jiatai Laser Technology(※)

学会・協会・工業会

日本塑性加工学会
金沢大学 設計製造技術研究所
国土院大学 大橋研究室
静岡大学工学部機械工学科 塑性加工研究室
芝浦工業大学 生産加工プロセス研究室(青木研)
東京電機大学 塑性加工研究室(柳田研)
東京都立産業技術高等専門学校 長谷川研究室
東京都立大学 先端材料加工学研究室・微細加工研究所
長野工業高等専門学校 工学科 宮崎研究室
日本大学 生産工学部 機械工学科 前田・鈴木研究室
福井大学 大津研究室
名城大学 吉川研究室
横浜国立大学 塑性加工研究室
早稲田大学 鈴木研究室
日本塑性加工学会 北関東・信越支部 長野ブロック

日本鍛造協会
アサヒフォージ
アジャックストック・マグネサーミックジャパン
リユーベ
リユーベインターナショナル(※)
ウチノ
近江鍛工
大塚鉄工
岡田工業
KAKUTAテックフォージング
ゲルブ・ジャパン
ゴージュ
サムテック
シンニッタン
知多工業
東亜鍛工所
東京精密鍛造
東京鍛造工業協同組合
函南鍛工
東福鍛工
東福鍛工
日亜鍛工
日進PREVO
フォージテックカワベ
豊和鍛工
北陸工業
丸富五十嵐製作所
ミヤジマ
メタルアート
八木工業

日本金属プレス工業協会
日本工作機械工業会
日本ばね工業会
日本ロボット工業会
レーザ協会

海外協賛団体

インド工作機械工業会
台湾機械工業同業公会
中国鍛圧協会
中国模具工業協会